

14. 再受検申込者の記入例

(1) A票の作成方法

再受検申込者は、**再受検**欄内を必ず記入してください。その他の欄は記入不要です。

なお、再受検申込者は、B票の作成の必要はありません。

- 記入は受検申込者本人が行ってください。
- 記入は黒のボールペンを使用し、字を崩さずにいねいに書いてください。
消せるボールペン、鉛筆などは、記載内容が消滅することがありますので、絶対に使用しないでください。
- 年齢は令和5年3月31日現在で記入してください。
- ☐ 欄は記入しないでください。
- 申請の内容については、改めて確認させて頂く場合があります。
- 誤って記入した場合は、修正液できれいに修正してから訂正事項を記入してください。
- 申請書は切り離さないでください。

A票等記入例

振替払込受付証明書（お客さま用）貼付欄

令和5年度1級建築施工管理技術検定受検申請書

標記の検定について、関係書類を添付して受検申請を行います。令和5年2月3日

試験区分 第一次・第二次検定 ① 第二次検定のみ ② 第一次検定のみ (受検資格区分二の方) ③

ご自分が新規受検なのか、再受検なのかについて、受検の手引きや上記半印の項目をご確認のうえ正しくお申込みください。

平成15年度以降に1級建築施工管理技術検定を受検し、今回再受検の方は、下欄を記入（受検年度・番号がわからない場合は下記「不明」欄を○で囲ってください）

過去受検年度 ④ R 30 年度 過去受検番号 300000 不明

履歴票

過去受検票等を裏面の貼付欄に必ず貼付してください。

フリガナ ケン セツ シ ロウ 氏名 建設 二郎

性別 男 生年 昭和 63 年 12 月 04 日

本籍 熊本 都道府県コード 43

住民票コード 〇〇市〇〇区

〒1-2-34 〇〇ハイム205

TEL [自宅] 045 (〇〇〇) ×××× TEL [携帯] 090 (〇〇〇〇) ××××

フリガナ マルマルケンセツカブシキカイシャ 勤務先名称 〇〇建設株式会社

フリガナ ホンテンコウジコウジカ 部署名 本店工事部工事課

〒0-0-0 〇〇〇〇 東京 〇〇区〇〇町 5-6-78

TEL 03 (〇〇〇〇) ×××× FAX 03 (〇〇〇〇) ××××

勤務先 〇1. 中央官庁 (出先機関を含む) 〇4. 公団・公社・事業団等 〇7. 建設業 (仕上り) 10. その他

〇2. 都道府県 〇5. 建設業 (建築一式) 〇8. 建設業 (その他) 〇9. 建設業 (監理)

〇3. 市町村 〇6. 建設業 (監理) 〇9. 建設業 (建設コンサルタント)

受検票等送付先 〇1. 現住所 〇2. 勤務先 〇3. その他

左欄1・2以外の住所に受検票等を送付希望の方は、この欄に送付先を記入。理屈の場合は事務所名等も記入（日本国内に限る）

学校名 学部・学科名 在学期間 (在学年数)

最終学歴及びその1つ前の学歴

写真

令和5年2月白撮影 (横×××)

受検資格に關係する資格

試験に合格・免許を受けた年月日

合格証明書番号・免許番号等

2級建築施工管理技術士

2級建築士

1級建築士

1級建築施工管理技術士補

審査担当者記入欄 (申込者は記入しないでください)

2級合格後 2級士取得後 1級士取得後 専攻2年 専攻1年

No. 1

住所・氏名を記入の上、次のとおりお支払ください。

【郵便局の窓口で支払うとき】

同封の振替払込用紙で必ず個人別に払込み、振替払込受付証明書を貼付欄に全面のりづけしてください。必ず郵便局の日附印が押印されているか確認してください。

【郵便局のATMから支払うとき】

同封の振替払込用紙で必ず個人別に払込み、ご利用明細票の原本を貼付欄に全面のりづけしてください。(控えとして、必ずコピーをとり保管してください。)

※コピーのご提出は認められません。

受検希望地は、10都市から選んでください。

氏名・生年月日・本籍は、住民票(戸籍)に記載されているとりに記入してください。

現住所は、現在の住まいを記入してください。住民票の住所と違っていても結構です。

勤務先はビル名・部署名まで詳しく記入してください。勤務先TELはご連絡させていただく場合があります。

記入する場合は、郵便番号、アパート名、団地名、棟番号、同居先名まで詳しく正確に記入してください。送付先を短期賃貸マンション等にされる場合は、必ず郵便局に転送届(転居届)の手続きをしてください。

書面申込者の提出写真に関する注意事項について

- P18を参照し規格にあった写真を貼付してください。
- サイズ縦4.5cm×横3.5cm
顔の寸法は頭頂からあごまで3.4cm
無背景、脱帽、アクセサリ等は外した状態
- 受検申込者本人のみを撮影し、撮影後6ヶ月以内のもの

写真はスキャンングをするため、写真の表面にセロテープ等をはりつけるのは禁止です。指紋やゴミも付かないよう気をつけてください。

(2) 受検票等貼付欄について

平成15年度以降の1級の受検票または不合格通知書をB票上部裏面の貼付欄に全面のりづけしてください。

裏面

過去の受検票等がある場合

再受検申込の方は、②欄に過去の受検票等を貼付してください。

- 再受検申込については、受検の手引P15を参照してください。
- 下記①欄で該当する「再受検区分」の番号に○印を付けてください。
- ②欄に貼り付ける受検票等は、平成15年度以降の申込実績によって次のとおりとなります。

平成15年度以降の申込実績	再受検区分	②欄に貼付するもの
1級建築施工管理技術検定の第一次・第二次検定受検申込(受検の手引P2の区分イ・ロ・ハいずれかに該当)で、第一次検定を不合格または欠席【R2年度までは学科・実地試験】	第一次・第二次検定	第一次検定受検票、不合格通知のいずれか(学科試験又は実地試験の受検票、不合格通知も可)
1級建築施工管理技術検定の第一次・第二次検定受検申込(受検の手引P2の区分イ・ロ・ハいずれかに該当)で、第一次検定のみ合格者(技士補)	第二次検定のみ	第二次検定受検票、不合格通知のいずれか(第一次検定合格通知書も可)
1級建築施工管理技術検定の第一次検定のみ受検申込(受検の手引P2の区分ニに該当)	第一次検定のみ	第一次検定受検票、不合格通知のいずれか
一般建築士試験合格者で、1級建築施工管理技術検定の第二次検定のみ受検申込【R2年度までは実地試験】	第二次検定のみ	第二次検定受検票、不合格通知のいずれか(実地試験受検票、不合格通知も可)

① 再受検区分

1	2	3
第一次検定のみを再受検	第二次検定のみを再受検	第二次検定のみを再受検

② 受検票等貼付欄 (再受検申込者専用)

平成15年度以降の「受検票」「不合格通知」いずれかの原本を、「氏名」「受検番号」が見えるように全面のり付けてください。

※1 過去受検時の受検票等と現在の氏名が異なる方は、戸籍抄本(写し不可)を同封してください。

※2 再受検申込とは、平成15年度以降に本検定の新規申込を行った方が、次年度以降に同一の検定種目(1級建築)を再度申込する際、添付書類【実務経験証明書、住民票、卒業証明書、資格証明書(写)等】を省略できる申込方法です。(受検手数料の振替払込受付証明書と顔写真が必要です。)

該当する区分に○印

受検票等は、氏名・受検番号・年度がわかるように貼り付けてください。

学科 平成30年度
1級建築施工管理技術検定試験
学科試験 受検票

受験者氏名			
生年月日			
試験地	受検番号		
試験会場(詳細は、右側の会場案内のとおり。)			
試験日時			
※実地試験に合格された後、技術検定合格証明書に左の顔写真が印刷されます。			

【試験中は、このページを切り取り机の上に置いてください】

裏面

平成15年度以降の受検票等を紛失した場合は、裏面の「受検証明書の発行を希望します」に○印を付し、300円分の切手をクリップでとめてください。

裏面に平成15年度以降の受検票等を貼付できる場合は、記入不要です。

過去の受検票等がない場合

受検票等を紛失した場合は、下記の項目に○印を付していただき、受検証明書発行手数料として切手300円分を受検申請書にクリップで留めてください。

受検証明書の発行を希望します

■受検証明書の発行を希望した方は、当方にて受検証明書を作成し②欄に貼付して申込処理を進めますのでご了承ください。